

第11回 グリ下会議資料

令和 8 年 7 月 3 0 日
グリ下会議事務局（中央区）

1 これまでの会議の整理（第1～10回）

設置の背景と方向性

背景

令和5年7月の知事・市長・警察・地元商店街の意見交換で示された課題認識は以下の3つ

- ①若者を犯罪の加害者にも被害者にもさせない
- ②大阪の街の顔、道頓堀とグリコ看板下を健全で安心な街にする
- ③若者たちが個々個別に抱える課題を表面だけでなく背景まで捉えて対応する

令和5年8月以降、10回の会議を重ねて論点整理や認識共有を進めてきた。段階を経て、対応状況や現状等の情報共有を行い、連動して効果的に取組を実施できる体制づくりをしてきた。

方向性

グリコ看板下や道頓堀を「誰もが楽しめ安心できる場所」にするために、以下の2つの観点を持って引き続き取組を進めていく

- ① 安全・安心で魅力的なまちづくり － イメージの回復 －
- ② グリコ周辺に集まる若者への包括的な支援 － 4つのミッションを踏まえて －

【参考】これまでの会議実績

回次	開催年月日	概要
第1回	R5.8.28	会議の趣旨・方向性・構成員・位置づけ・スケジュール等を確認
第2回	R5.9.20	就労支援と相談支援について議論・情報共有
第3回	R5.10.30	福祉的支援と法的支援についての論点整理
第4回	R5.12.14	「グリコ下の子ども・若者への取組 4つのミッション」作成
第5回	R6.5.29	市長・知事への「第1～5回グリコ下会議 報告書」作成
第6回	R6.9.13	第5回会議以降の取組状況確認
第7回	R7.2.12	令和7年度へ向けての状況確認（※万能堀の報告あり）
第8回	R7.6.12	これまでの取組と現状について（大阪市の施策）、これからの方向性について
第9回	R7.12.18	これまでの取組と現状について（大阪府・大阪府警の施策）
第10回	R8.3.19	令和8年度へ向けての取組状況確認

2 令和7年度以前からの事業について

■ 既存施策の継続事業

令和7年度まで各機関が実施している事業については、令和8年度も継続して実施している

① 安全・安心で魅力的なまちづくり － イメージの回復 －

所管所属	事業名
大阪市 建設局	とんぼりリバーウォークの清掃、 巡回警備
中央区役所	道頓堀周辺の清掃、 とんぼりリバーウォークの巡回警備
大阪府警 本部	・継続補導（立ち直り支援） ・資質調査（心理テスト） ・情報発信 ・街頭活動 ・少年相談活動
大阪府警 南警察署	・街頭補導 ・少年相談 ・犯罪少年事件の捜査 ・被害少年の保護 ・要保護少年の保護及び児童虐待を受 けたと思われる児童の保護

② グリ下周辺に集まる若者への包括的な支援 － 4つのミッションを踏まえて －

所管所属	事業名
大阪市福祉局	居住支援事業 （三徳生活ケアセンター）
大阪市福祉局 中央区役所	自立相談支援機関 （くらしサポート中央）の対応
大阪市 こども青少年局	若者自立支援事業 「コネクションズおおさか」
大阪市市民局	大阪市しごと情報ひろば 総合就労サポート事業
大阪市 こども相談センター	18歳未満のこどもに関する各種相談 支援
大阪府 商工労働部 雇用推進室	総合就業支援拠点 「OSAKAしごとフィールド」
大阪府福祉部 子ども家庭局 青少年支援課	大阪府福祉基金

3 関連施策の取組・連携状況について

関連施策の取組状況

既存の施策で課題への対応が可能なものや、グリ下会議での議論を踏まえて、NPOとの連携強化や実施場所の拡大等の取組を行っている

◆居場所づくり 認定NPO法人D×Pが運営

- ・令和5年6月に開設された若者の居場所（ナイトユースセンター）

◆障がい相談支援との連携

- ・地域における障がい相談支援の中核的な役割を担う「中央区障がい者基幹相談支援センター」と「認定NPO法人D×P」の意見交換会開催
- ・障がい分野の情報共有と支援連携を実施 今後も継続して連携していくことを確認

◆薬物依存症や精神疾患の相談支援との連携 大阪市こころの健康センター

- ・市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）や薬物依存の対象者への支援相談連携

◆地元商店会と大阪市・中央区の連携

- ・地元商店会の集まりに参加し、話し合いを継続

◆大阪府警・地元商店街・大阪府・大阪市・中央区の連携

- ・戎橋周辺での少年非行を防止するため、地域、学校、企業と連携し、継続的な見守り活動等を継続

4 令和8年度からの取り組み

■ 新規事業

グリコ看板下や道頓堀を「誰もが楽しめ安心できる場所」にするために、各機関が予算要求や地域の状況に合わせた調整を行い、新たな事業を実施している

① 安全・安心で魅力的なまちづくり

■ ミナミエリアの環境改善事業（中央区）

- ・ミナミごみゼロカート事業
- ・IoTスマートごみ箱運営支援事業
- ・ミナミエリアにおける環境課題改善方策検討調査事業
- ・ミナミの環境改善に向けた啓発強化事業



ミナミごみゼロカート巡回のイメージ



IoTスマートごみ箱のイメージ

② グリ下周辺に集まる若者への包括的な支援

■ ミナミ周辺の若者に対する支援事業（中央区）

- ・食糧等の生活必需品提供を契機として若者との関係性を構築し、支援機会の充実にに向けた取組を実施

■ 生活に困難を抱える若者の課題解決をめざすための連携協定（大阪市福祉局）

- ・大阪を拠点に活動するアイドルグループ「シンセカイヒーロー」が所属する株式会社クリーブラッツと連携協定を締結し、若者の相談窓口や支援施策の周知・啓発を推進。

グリコ看板下や道頓堀を「誰もが楽しめ安心できる場所」にするために、会議での議論を深めていくとともに、引き続き、既存のそれぞれの施策・取組の実施状況を共有しつつ、連携を深めていく。関係者の意見も丁寧に聞きながら、引き続き取組を進めていく。